

フィリピンで緊急医療支援

台風被害 AMDAが看護師派遣

フィリピンでの緊急医療支援のため
JR岡山駅を出発する岩本さん



台風24号で深刻な被害が出ているフィリピン・ルソン島で緊急医療支援を行うため、国際医療ボランティアAMDA（本部・岡山市北区伊福町）は23日、看護師の岩本智子さん（31）＝倉敷市＝を派遣した。

岩本さんは同日朝、関西空港に向けてJR岡山駅を出発した。北部のパンガシナン州に1週間ほど滞在し、地元医師と協力して避難所での巡回診療、必要な物資の情報収集などに取り組む予定。

岩本さんは岡山駅で「現地は日本で報道されている以上の惨状だと聞いている。被災者のニーズを見極め、適切な支援をしたい」と話した。

フィリピン政府の発表によると、台風24号

は18日にルソン島を直撃し、広範囲に洪水や土砂崩れが発生。22日までの死者は41人以上、数十万人が避難所生活を余儀なくされている。（大橋洋平）